



結
yui

2016. 9. 17 No.71

発行「憲法9条の会つくば」

〒305-0005

つくば市天久保 1-10-12 1-401

TEL 080-5888-7824

Fax 029-856-2286



<http://peace.arrow.jp/tsukuba2/>

参議院選挙

～それぞれの思い～

与党勢力が憲法改正の発議に必要な2/3に達するかが、一番関心のあるところであったが、越えられてしまったことは残念であり、がっかりもした。2000万署名も地元で頑張ったつもりであったが、その分落胆も大きかった。戦争になれば信仰の自由なんて一気に吹き飛ばされてしまう。戦前と似たような状況に向かっている今、なぜ先の戦争を止めることができなかつたのかを、学ぶような地元で根を張った学習会をできればと願っています。(阿部眞庭)

夏休み、議員事務所での電話かけに通った。初めて足を踏み入れたその場所には、こどもが学校に行っている間の時間に来る主婦や仕事終わりに疲れた顔で事務所に来て、「何か僕に出来ることはありませんか」と尋ねるサラリーマンの姿。名前も知らない一人ひとりが、自分の大切なものを守るために行動を起こしていた。

電話かけが終わったあとは、投票ガイドを配って歩く。すれ違いざま、「もうすぐ選挙あるらしいよ」「もう投票いった？」といった会話が生まれている。小さな、けれど確かな変化が嬉しかった。

街宣に行き、実際に候補者の声を聞く。汗をかきながら、必死に、「あなたのための政治をします」と訴える議員の姿は、街中に貼られているポスターの笑顔からは想像が出来ない。

選挙の結果には落ち込んだけれど、わたしの明日は変わらず来る。過去から、未来から、そして自分自身から問われ続ける。この社会で、あなたはどう生きるのか。結果に絶望したり、無力さを嘆き立ち止まったりすること無く、これからも行動し続けたい。(大学生 東京在住 RS)

7月10日に実施された参議院選挙は、戦後初めて、野党と市民が全国的規模で選挙協力を行うという歴史的選挙となりました。しかし政府与党は、争点を経済問題にしぼりその他の重要な課題については徹底的に隠す戦術をとりました。選挙中の安倍首相の街頭演説では、「経済・アベノミクス」という言葉が321回使われたのに対し、「憲法改正」は0回だったそうです(6/22~7/3 FNN調査)。ところが選挙翌日の7月11日には、自民党改憲案を持ち出し、その後選挙中は一言も話さなかつた「共謀罪」の制定をも目論んでいます。選挙後ますます油断できない情勢がさらに進みそうですが、今回の選挙の結果について賛同人の皆様がどのように考え、感じておられるのかを特集してみました。20代の若者の意見にも耳を傾けたいと思います。

今回の参院選、素直にすごいと思います。野党共闘がかなり進み、これから先の選挙でも広げていきたいですね。ただ、これは個人的な印象かもしれませんが、冷めた目で見ている人がまだまだ多いように思います。そうした人々たちを選挙に巻き込むには、1人ひとりと冷静な議論を交わしていくしかありません。よく「若い人の投票率が低い」と言われますし、それは事実です。でも、若い人だけが政治に興味がないということではありません。子どもから大人まで、すべての人が身近な人と激論を交わす、そうなるにはみなさんの努力が必要不可欠です。一緒に学んでいきましょう!(筑波大・M.T)

今回の参議院選挙は、初の18歳選挙権行使の場になるということで、不安と期待が入り混じった気持ちで投票日を迎えました。国会前デモが盛り上がり、各地で若い世代が主体的に声を上げ、運動を広げている様子を目の当たりにしていただいただけに、与党の勝利という結果は悔しいものでした。18歳・19歳の新たな主権者の多くが自公に投票したとの報道もあり、すそ野が広がっても、価値観の変革までにはまだ至らなかったかと苦い思いで一杯になります。ただ、今回は初めての機会であり、政治に関心を持ち始めた人たちに今後どう働きかけていくかを考える上で、得るものも多かったのではないのでしょうか。

何より、選挙前、選挙中、そして選挙後の結果にも絶望することなく、自然体のしなやかな思考と行動力で進み続けた青年たちの姿に励まされました。彼らとともに歩むことは、間違いなく「これから」に繋がる、大きな財産だと思っています。(賛同人・穂積怜)



秋です！ 気を引き締めて



10年ぶりに会った知人が次のように語りました。「今は、誰がみたってオカシイということが、平気でまかり通ってるね」と。その例は、いろいろ思い当たります。

最近では、次の東京オリンピック成功のためには、何でも許されるとばかり、安倍政権は、テロ防止を理由に、「共謀罪」を復活させようと企んでいます。安倍首相は、リオ五輪の閉会式でスーパーマリオの扮装をして登場しました。五輪憲章は、五輪会場で政治的プロパガンダを行うことを許可していません。全く分かっていないと批判が起きました。あれは誰が見たってオカシイ。

安倍首相は、オバマ米大統領が検討している「核兵器の先制不使用」の方針を懸念すると米側に伝えたところ米紙に報道されました。本当だとしたら、被爆国の首相なのにオカシイ！

昨年の戦後70年談話で安倍首相は、さきの戦争は欧米が同盟して「経済のブロック化」を進めたため、日本は、孤立し外交、経済の行き詰まりを力の行使で解決しようとした、日露戦争勝利は、植民地支配のもとにあったアジアやアフリカの人々を励ました、などと述べ、これまでの反省を薄めました。その認識で昨年9月、「日本を守る」とか「自衛」のためと言いつつ強行成立させた「安保法制」では、今後、海外に派遣される自衛隊員に、武器使用を求めます。怖いしオカシイです。

さて、参院選の結果は、安倍晋三氏を増長させるものとなりましたが、期待も持てる状況が生まれました。何といても、32の1人区ぜんぶで市民と野党の共闘が生まれ、安保法制に反対し、立憲主義の回復、安倍政治を終わらせることなどを目指す統一候補が生まれ、11の選挙区で当選が勝ちとられたことでしょう。この運動の中で、市民の先頭に立ってたたかってきたシールズ（自由と民主主義のための学生緊急行動）の行動が今後に向けて大きな財産を残しました。民主主義は行動をともなっこそ意味のあるものになるという、シールズの解散にあたってのメッセージは強い響きがあります。

次回衆議院議員選挙で、国会の3分の2をもって憲法が改悪されようとした場合、ここでこそ、参議院選挙で安倍氏らの肝を冷やした市民と政党とのまとまりをさらに強め、幅広い全国的運動でそれを押し返しましょう。

「憲法9条の会つくば」は、世話人会や「11周年記念のつどい」で現行憲法と自民党改憲案を比較して学習するとともに、意見交流をしたいと思っています。

憲法12条では、「この憲法が国民に保障する自由及び権利は、国民の不断の努力によって、これを保持しなければならない」と謳っています。また、シールズの民主主義は行動をともなっこそ意味のあるものになる、とのメッセージなども重く受けとめ、「憲法を、9条を守り、生かす」草の根運動を強めていきましょう。

「憲法9条の会つくば」共同代表 三浦克洋



平和の鐘 一振り運動

▼8月9日、自由が丘めぐみ教会で2016「平和の鐘」礼拝の集会が開かれました。司会の阿部牧師さんから「オバマ広島訪問

問」に関連して「謝罪を求めない」広がった市民の声についての新聞記事、参議院選挙の結果や緊急事態条項についての教会関係のメッセージなどのお話があり、その後、憲法9条つくばから野崎が科学者と軍事研究の危険な動きなどについて、途中、11時2分に平和の鐘と黙とうを挟んで、報告しました。礼拝後、すいとんを食べながら一人ひとり参加者の戦争体験や平和への想いが語られ、とても意義ある



集会でした。平和の鐘運動のおかげでいろいろ勉強することができる」と阿部牧師は語られていました。

(野崎)

▼8月6日、9日の両日北斗寺で、原爆投下の時間に合わせて「平和の鐘」を参加者が一振りずつ打ちながら黙とうをしました。6日のヒロシマの日には、福島



応援プロジェクトでつくば滞在中の子どもたちが参加してくださりにぎやかな朝となりました。

当会では毎月第3日曜日に定例署名、9日に9の日署名を行なっています。その他、「戦争をする国づくりNO@つくば」と共に、毎月3日「アベ政治を許さない」スタンディングと署名を行ないます。

「憲法9条の会つくば」の活動から



- ◆賛同人 2016年9月5日現在
総数 935名 (市内 670名)
- ◆9条署名 9月10日現在 16,200筆

「アベ政治を許さない」 スタンディング

▼8月3日と9月3日、猛暑の中、全国の仲間と連帯してTXつくば駅頭で「アベ政治を許さない」のプラスターを掲げ10人以上の参加でスタンディングしました。おなじみの毛筆のプラスター以外に、大角豆のKさんが季節にちなんだ絵手紙のプラスターを掲げてくれています。8、9月は瑞々しいトマトでした。以前のものも紹介します。ユニークで人目を引きます。9月3日は19日の集会のチラシを渡す宣伝行動もしました。(穂積)



▼その後、西武デパート2階外広場に移動し、9条を変えさせない署名活動をしました。参加者は8人、この夏、初めて参加のOさん、昔つくばで活動していたHさんも参加。さらに、抒情歌を歌ってくださる会員の荒牧さんが、久しぶりに参加してくださいました。歌が流れると、足を止めて聞いてくださる方がいて、署名をお願いしている私たちも、ホッと癒されながら「署名のお願い」をすることができました。

金曜日の昼下がり、外は暑くデパートに入る買い物客は少ない、というわけで、署名数は21筆にとどまりました。一般的に、よく9条署名をして下さるのは、子どもを連れのお母さん、60歳以上の女性、次いで中高年の男性でしょうか。若い男性、ファッションブルな女性は、残念ながらあまり署名をして下さらない、というのが私の実感です。なのに、この日は、若い男性が2人も署名をしてくださいました。頑張ってください！と声掛けもしてくださいました。チョットうれしい署名活動でした。(長田)

▼7月29日に定例署名、8月9日に9の日署名を行ないました。

憲法9条の会つくば 11周年記念のつどい

憲法9条の会つくばは、設立11周年を迎えます。11周年記念のつどいは、憲法9条を変えさせない、そのためにできることを講師と共に考え、交流しあう場にしたいと思います。皆さまのご参加をお待ちしています。

日時 2016年11月26日(土) 14:00~16:20 (予定)

場所 つくばイノベーションプラザ (元つくばサイエンスインフォメーションセンター)

講演 「憲法のあるこの社会を守るために～“壊憲”に抗う～」(仮題)

黒澤いつきさん (あすわか「明日の自由を守る若手弁護士の会」共同代表)

文化行事 中国伝統楽器の調べ 二胡演奏 坂本優子さん (つくば市在住)

*実行委員募集中！実行委員会にご参加ください。詳細は事務局まで
(080-5888-7824)

黒澤いつきさんのメッセージ

いわゆる改憲派が、ついに憲法改正の発議に必要な議席を確保してしまいました。平穏で自由なこの暮らしの行方が、また一段と暗雲立ちこめてきています。

そんな中、憲法9条の会つくばの皆さまが危機感を共有し、自由と平和を希求しつづけていることは、なにより心強いことです。当日、豊かな分かち合いができることを楽しみにしております！



原爆と人間展

土浦の市民団体による平和展

土浦の市民団体が実行委員会をつくり、毎年 8 月に「原爆と人間展」を開催しています。今年も 71 回目の原爆忌を控えた 8 月 2 日から 9 日まで土浦駅前の県南生涯学習センター（ウララビル 5 階）で開かれました。

内容は開催期間を通して広島、長崎の原爆のパネル 60 点余りを展示。1711 人が来場しました。6日はピースデーとして、午前は詩の朗読とドキュメンタリー映画「生きていてよかった」の上映、午後は主催した県原爆被爆者協議会の黒川博会長(87)が長崎の被爆体験を証言、昨年の平和使節団の中学生 7 人による報告、映画「母と暮せば」の上映などが行われました。

黒川博会長は長崎で母と弟を亡くし、自身も入市被爆者として、被爆体験を語り平和の大切さを訴えました。

中学生たちは、広島での平和使節団に参加したことで、人を助ける仕事に就きたい、など、将来の職業や夢を語り参加者の胸を打ちました。(M)

ふたりの贖罪

～日本とアメリカ・憎しみを越えて～

終戦特集番組 NHKスペシャル 8月15日20時～

真珠湾攻撃の指揮官・淵田美津雄と、パールハーバーの復讐心から日本への空襲を志願した元米陸軍のジェイコブ・ディシェイザー。終戦後、2人はある小冊子をきっかけに出会い、かつての互いの敵国で、戦争がもたらした悲劇を「伝道者」として語り続けることになった。

淵田は、戦闘について、「撃たれたら撃ち返したくなる」「皆殺しにして最後まで敵を苦しめることだった」と語る。しかし、真珠湾の英雄は、敗戦後、「国を滅ぼした職業軍人」「戦争犯罪人」と同胞から指弾される。一方、ディシェイザーは、捕虜となって日本人看守に残酷な仕打ちを受け続けるが、「彼らだって自分が何を

しているか、わからないのだ」と考える。聖書には「父よ、彼らを赦し給へ。その為す処を知らざればなり」とある。戦後、伝道師となって日本を訪れたディシェイザーと出会った淵田も、「当時の私は盲目でした」と語る。そして、「無知が招く戦争」を二度と起こさないために、自らも語り続ける。

「無知は無理解を生み、無理解は憎悪を生む。そして憎悪が戦争を生む——私たちは、互いに憎しみもなかった人間同士が殺し合わなければならないのが戦争の異常さだ、ということに思いを馳せ、戦争への道を開こうとする政治を許さず、無知が生む憎しみの連鎖を断ち切らなければならない。(G)

行動予定

- 9月18日(日) 定例署名行動 12:00～13:00 クレオ前2階広場
- 9月19日(月・休) 安保法制の発動をゆるさない9・19つくば集会とパレード 14:00～ 中央公園 (戦争をする国づくり NO@つくば実行委員会)
- 10月3日(月)「アベ政治を許さない」スタンディング 13:00～13:30 TX つくば駅 A3 出口付近
- 10月9日(日) 9の日署名行動 12:00～13:00 アルス前
- 10月15日(土) 事務局会 10:00～12:30 市民活動センター (予定)
- 10月16日(日) 定例署名行動 12:00～13:00 クレオ前
- 11月3日(木・休)「アベ政治を許さない」スタンディング 13:00～13:30 TX つくば駅 A3 出口付近
- 11月5日(土) 結 72 号発行
- 11月9日(水) 9の日署名行動 12:00～13:00 アルス前
- 11月19日(土) 世話人会 13:30～16:00 並木交流センター (予定)

インフォメーション

◆安保法制の発動を許さない9.19つくば集会とパレード

日時：9月19日(月・祝)14:00～
 場所：中央公園 つくば市吾妻 2-7-5
 内容：和太鼓演奏、市民のスピーチ、みんなで歌おう
 主催：戦争をする国づくり NO@つくば実行委員会
 連絡先：長田 090-7845-6599 穂積 090-6492-5378

◆九条の会の全国交流・討論集会

日時：9月25日(日)11:00～午前全体会・午後分散会
 場所：明治大学リビエータワー・ホール
 事前申込を九条の会ウェブサイト、または9条つくば事務局 osada3220@nifty.com まで

◆第13回地方自治研究全国集会 in 茨城つくば

日時：10月1日(土)12:45～17:00 2日(日)9:30～15:30
 場所：1日つくば国際会議場 2日筑波大学キャンパス他
 内容：1日全体会・常陸乃国ふるさと太鼓、現地からの証言と討論会「憲法をいかに地域、日本をどうつくるか?」、

ナイター講座「暮らしの基盤を確立し安全安心で環境にやさしい地域をつくる」岡田知弘(京都大学教授)
 記念講演：「民主主義を再定義する」高橋源一郎(作家・明治学院大学教授)

2日分科会・「憲法を暮らしの中にかす草の根のとりくみ」田中章史(憲法改悪阻止各会連絡会議)他
 参加費：2日間2000円 1日1000円(事前申込)
 主催：第13回地方自治研究全国集会実行委員会
 連絡先：自治労連TEL03-5978-3580

◆ママの憲法カフェ パートⅣ

日時：10月15日(土)10:00～12:00
 場所：つくば市並木交流センター 2階大会議室
 内容：自民党「日本国憲法改正草案」とは？一つの尊厳否定—講師：福富美穂子弁護士(東葛総合法律事務所)
 資料代：300円/お子さんの保育については問合せ下さい。
 主催：新日本婦人の会つくば支部 TEL029-852-4118